

国民の安全な生活、安心な毎日を全力で守るために

経済と暮らし

◎賃金アップは当たり前の社会へ

- ・物価高を上回る賃上げをするため、事業者を支援し、最低賃金も1500円を目指す

◎戦略的財政出動で「強い経済」を

- ・17の重点分野を定め、戦略的財政出動を行い、成長産業化を目指し、世界の中で「強い経済」を作り上げる

◎生活インフラの維持更新充実を

- ・水道・下水道に取り入れた分散型の仕組みも活用して、強靱化と更新作業を計画的に進めていく
- ・宇宙空間や大気圏内での通信技術開発を支援し、自然災害などにも強い通信インフラを目指す



防災と警察行政

◎防災担当大臣の経験を糧に防災対策を加速

- ・精緻化された各種ハザードマップを活用し、「安全な場所に住む」という街づくりを推進
- ・震災対策に地震計以外のデータ（電磁波、地下水位など）を活用して、揺れる前の地震初動をつかみ、警報として活用する技術の研究を進める

◎国家公安委員長の経験をもとに、安全な社会を

- ・サイバー空間を活用した犯罪の急増に対応し、専門人材の確保と全国的な対策本部を設置する



「おひとりさま」問題、労働力不足

◎身寄りがなくとも安心して幸せに生活できる社会制度の実現

- ・一人暮らしが増えている現状に鑑み、家族が世話をすることが前提となっている現制度を変更し、支援体制を構築する
- ・横浜市が全国に先駆けて構築した、社会的コストを大幅に軽減させることのできる「ヨコハマあんしん登録」制度を普及・活用した上で、全国に波及させる

◎労働力不足への対応

- ・AIなどデジタル技術を導入し、省人化を今まで以上に推進していく



社会保障と教育

◎安心して住める地域の基本条件である、適切な医療と介護体制の整備

- ・現役世代の保険料の増加を抑え込む一方で、安定した社会保障制度を目指す
- ・実質の公定価格である診療報酬や介護報酬は、持続可能な金額に定める

◎生き抜く力と自ら考える力を養成する教育を

- ・ICT技術をより活用し、全国で同一レベルの授業を行う仕組みを拡充する



国家のかたち

◎地方の元気こそ日本の活力へ

- ・関係人口を地方活性化の手段に。そのために「ふるさと住民登録制度」の拡充を推進する
- ・地方創生を進める市町村を後押しする「広域リージョン連携制度」創設と普及を推進する

◎国民が希望を創り、ともに実現する国へ

- ・憲法制定時に想定していなかった環境問題の発生やスマホの普及といった社会環境の変化に対応した憲法改正議論を活発化させ、議論が一致したところから改正発議を

さかい学

選挙事務所 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町3922 戸塚ビル3階
TEL: 045-863-0900 FAX: 045-865-6700
sakaimanabu.com

さかい学の政策の
詳細はこちら →



頒布責任者: 藤間田将 戸塚区戸塚町3922 印刷者: 株式会社横浜プリント 横浜市南区宮元町1-23

前
防災担当大臣 国家公安委員長

さかい学

まなぶ



これからも、
ひたすらに、**日本**のために。



大切なのは、 実現すること。

自民党
戸塚区 泉区

みなさんの声を受けて、実現できたこと

- ◎小中高校生に日本の領土と主権に関する課題を認識してもらうため、「領土・主権展示館」にお弁当を食べる場所を設置し、社会科見学などで訪問してもらうよう各自治体の首長、旅行代理店協会などに対し**トップセールス**で要請
- ◎参加者の防災意識を高めると同時に、社会の安全のためのエッセンシャル・ワーカー（自衛官、警察官、消防士など）の仕事を知ってもらうため、**地域の防災体験イベントに自衛隊による炊き出しを誘致**
- ◎警察官の応募者が減少している現状を踏まえ、警察学校の暑熱対策など、**警察官の待遇改善に係る実施予算の獲得を支持し、実現**
- ◎**ケアマネジャー**の人材確保を図るため、さかい学が座長を務める「自民党幸齢社会PT」で検討し、負担の大きかった法定研修受講による**更新制度の廃止を実現**
- ◎被災地で被災者が少しでも健康的な食事ができるよう、被害に遭わなかった**地元の料理人**に有償で炊き出しを担ってもらい、**収入を得ることも可能な仕組みを構築**
- ◎災害で水道が何ヶ月も使えない現状を鑑み、国土強靱化の観点から**分散型上下水道**を市町村が選択できるよう、**国として後押し**
- ◎初代「自民党 2027横浜花博推進特命委員長」として、**花博開催期間中の警備費用を予算化**
- ◎「ふるさと住民登録制度」と「広域リージョン連携」を地方創生本部の政策に組み入れてもらい、地方の一層の活性化を促進
- ◎人手不足、燃料高騰などで物流事業がひっ迫することに対応するため、**駐車禁止の例外許可制度の運用を改善**

■さかい(坂井) 学 プロフィール

昭和40年9月4日生まれ

野球少年

リトルから大学卒業まで野球漬けの日々。
都立国立高校、東京大学法学部卒

地域づくりと土づくりの20代

松下政経塾（10期生）時代に、熊本県などで地域づくり活動に従事。

政経塾卒業後、熊本県で土壌浄化法を用いた汚水処理の会社で働きながら、自然農法による農作物栽培を実践。現在も地方創生への取り組みを行っている。

復興応援がライフワークに

東日本大震災の直後に地元の仲間たちと募金、炊き出し、物資提供などの活動をする「ゆいっこ横浜言いだしっぺ支部」を立ち上げ、現在もご縁をいただいた日本各地の復興応援を行っている。

【主な経歴】(衆議院議員6期)

防災担当大臣 国家公安委員長

内閣官房副長官

総務副大臣 兼 内閣府副大臣

財務副大臣

国土交通大臣政務官 兼 復興大臣政務官

元 横浜市立豊田中学校 PTA 会長

家族：妻と娘3人

趣味：野菜づくりとスパイスを使った料理づくり

好きな言葉：「雑魚は雑魚なり大海を泳ぐ」

証紙